

よろず支援拠点だより <53>

思い出せるロゴが安心感につながる

わかやま新報の読者の皆さま、こんにちは！

和歌山県よろず支援拠点コーナーデザイナーの角田です。パッケージなどのデザイン分野を専門としております。今回は最近ご相談の多い「ロゴマーク」のお話です。ロゴというと単なるイラストだと皆さん思っていないですか？実はそうではありません。ロゴマークとは一言で言えば「コンパス」です。

社外へ向けた役割は皆さまはご存じだと思いますが、もっと重要なのが「社内」への役割です。「自分たちはどこへ向かっているのか？」の答えを具現化したものがロゴマークなのです。行き先や目

的地が分からない船に乗っていると不安になります。そこでコンパスが必要になります。です。代表者の趣向で作ったり、カッコよい見た目で作っては駄目です。つまり、ロゴとは「理念」の塊なのです。社内へはコンパスとなり、社外へは旗印となります。さて、そんなロゴを作成する場合の2つのポイントについてお伝えします。一つ目は「ロゴの作成手順」についてなのですが、先に「理念を言葉や文章」で作成し、その後「形にしていこう」とします。ロゴを作成する場合、真っ先にスケッチやイラストを描いてしまいがちです。しかし、ロゴは理念の塊ですので先にそ

の理念を考えます。二つ目は「形にしていこう」場合の注意点「点」なのですが、はやりを追わないことです。これはとても大事です。はやりを追うとすぐに古臭くなります。「はやり」とは「今のトレンド」であり、トレンドは一瞬で過ぎ去ります。そして色数は少なく、という点も重要です。誠実さを伝えるには青、情熱なら赤、というふうに色にも意味がありますが、色数が増えれば情報量が多くなり、記憶に残りにくくなります。最後に、あれもこれもと思いを入れ過ぎないことです。前述の通り、情報量が多くなれば伝わり方が鈍り印象も薄れます。ロゴの重要な役割の一つに「想起」があります。思い起こせる、思い出せることです。「どこかで見たことがあ

るロゴ」は安心感につながり、思い出せないロゴは存在しないに等しいです。

ポイントは他にもありますが、まずは上記2点に気を配っていただければ良いロゴになります。もっと詳しく聞きたい方はぜひ、よろず支援拠点へお問い合わせください！

和歌山県よろず支援拠点
和歌山市本町二丁目1番地
フォルテワジマ6階
URL <https://yorozu-wakayama.jimdo.com/>
TEL 073・433・3100

